

コード	名 称		区分	コード	名 称	
事業名	622	広域農道・農免道路維持管理経費	会計	01	一般会計	
			款	06	農林業費	
			項	01	農業費	
基本 施策	49	広域的な道路・交通環境を整備する	目	02	農業総務費	
			細目	282	農道維持管理経費	
行革大綱の重点事項番号			4	細目	01	広域農道・農免道路維持管理経費
担当部署	コード	191300		担当者	岡本隆雄	
	名称	産業建設部 農村整備課		連絡先	43 - 2304 (内線) 360	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	広域農道、農免道路と通行する農業者及び関係車両	※対象件数
成果(どうする)	農道の安全管理が行き届き安全な通行が確保される。	
根拠法令・要綱等	草刈作業の自治会等への業務委託実施要領	
開始年度	平成 9 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	草刈業務委託 A=40,854㎡ 凍結防止剤購入 140袋	
社会情勢 の変化等	県営事業により整備を進めている広域農道及び農免農道の供用開始に伴う管理移管が今後増加する見込みである。 広域農道及び農免農道の供用開始区間の交通量が増加傾向にあり路面の損傷が増加し、補修必要箇所が増加している。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			草刈作業延べ面積	㎡	目標 24950 実績	目標 27000 実績 42084
凍結防止剤購入費	袋	目標 140 実績	目標 140 実績 140	140	140	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				路肩除草作業延長	供用延長約68kmの内、除草延長	m	目標 8500 実績

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	1,352	7,634	9,015	9,000				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0						
一般財源	1,352	7,634	9,015	9,000				
事業投入人件費 (B)	0.1 人	720	0.2 人	1,440	0.2 人	1,440	0.2 人	
フルコスト(A)+(B)	2,072	9,074	10,455	10,440				

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
効果性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	山間部分を除き、隣接農地等地権者、自治会の一層の協力を乞い、管理の徹底と経費の削減を図る努力を引き続き行う。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	自治会の協力が得られない路線は、シルバー人材センターに委託して経費の節減を図った。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	山内 敏
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	広域農道、農免農道は広く一般交通の利用に供しており、国県道の機能を補完している。このため、通行者の安全を確保することは必須であり、現状の業務を継続する。また、今後、県からの施設移管が順次なされることとなるため、より一層業務を充実させる必要がある。
現時点における課題、その他	自治会への除草委託が次第に困難になりつつある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年9月までに自治会の協力が得られない路線は、シルバー人材センターに委託する。